

専修大学社会科学研究所月報

The Monthly Bulletin of the Institute for Social Science
Senshu University

ISSN0286-312X

No. 666

2018. 12. 20

目 次

特集 戦中史から国体論へ ―現代日本の古層―

『戦中史』と『国体論』を貫くもの…………… 恒木健太郎……………	1
はじめに……………	1
1. 共通項としての山田盛太郎『日本資本主義分析』……………	1
2. 山田理論の批判的継承と発展……………	4
3. 「構造」と「主体」……………	10
「戦中史」に於ける「国体」と天皇制…………… 福井 紳一……………	14
1. 「戦中史」としての日本近代と戦後日本……………	14
2. 「戦中史」を捉える視点……………	18
3. 天皇制と「近代」・「前近代」……………	22
講座派的問題設定の特徴と課題について	
——『国体論』に対する恒木健太郎氏の議論に寄せて——…………… 白井 聡……………	28
1. 「講座派は終わった」のか？……………	28
2. 「講座派的視角」から見えるもの……………	29
3. 実体主義の陥穽……………	30
編集後記……………	35